

低流動圧対応ブースター CWA-217A

(本体内蔵仕様 DV-S400A、DV-S500、DV-J200、DV-K200 型用)

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品をお取り付けください。
- 施工後は必ずお客様に本書をお渡しください。

安全のために守ってください！

低流動圧対応ブースターを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

注意・・・取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

注意

施工後の漏水点検を必ず行ってください。
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。



指示実行

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
※ 凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。



指示実行

仕様

品番	CWA-217A	
給水圧力	静水圧	0.15 ~ 0.75MPa
	流動圧	0.05MPa (13L/分流動時)

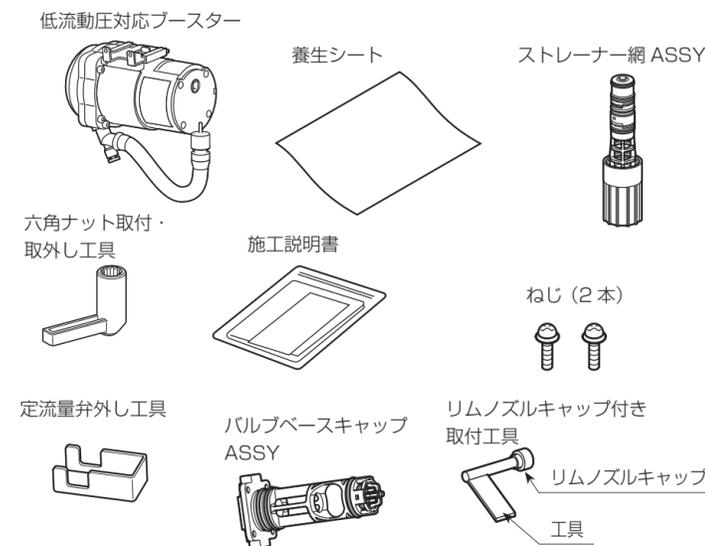
この低流動圧対応ブースターは、DV-S400A、DV-S500、DV-J200、DV-K200 型機能部専用用品です。次のような場合に取り付けてください。

- 水道圧が 0.07MPa (17L/分流動時) 以上確保できず、十分な便器洗浄ができない場合。

施工前のご注意

- 冬期凍結の恐れがある地域では、必ずトイレ室内の暖房を行うか、水抜きを行ってください。
- ブースターが凍結すると、故障や破損の恐れがあります。
- ブースター設置については、各法の水道局の規定に従ってください。
- 必ず止水時 0.15MPa、流動圧 0.05MPa (13L/分) 以上で使用してください。
- 水圧の測定には、水圧判定治具 (CWA-234) を使用してください。

部品の確認 (梱包内容を確認してください。)



準備工具

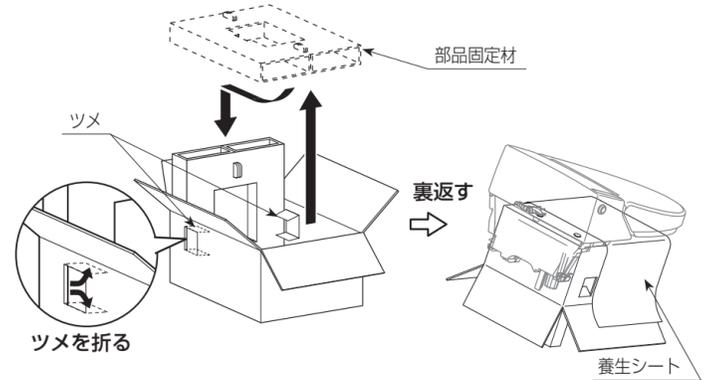
プラスドライバー、マイナスドライバー、水受けトレイを別途準備してください。



施工前の準備

● 施工台の設置

- (1) 低流動圧対応ブースターを交換でき、機能部を置ける広い場所を確保します。
- (2) 梱包箱から部品と部品固定部材をすべて取り出します。
- (3) 部品固定材を下記のようにして、梱包箱のサイドのツメを折って固定し、箱を裏返します。
- (4) 養生シートを施工台にかけます。

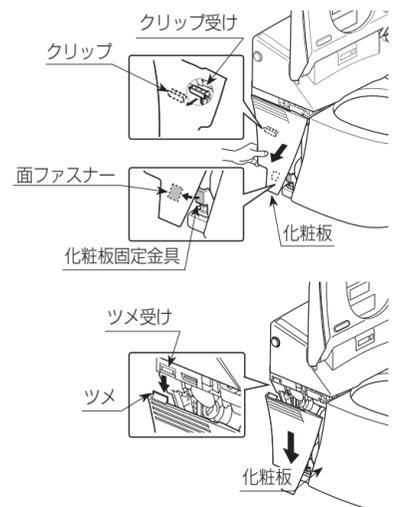


● 化粧板の取外し (DV-S400A 型の場合)

- (1) 本体を浮かせます。
参考 1 参照
- (2) 電源プラグをコンセントから抜きます。
注意 2 参照
- (3) 化粧板の下側をゆっくり横に引っ張り、「クリップ」を「クリップ受け」から外します。
- (4) 化粧板をゆっくり下に引っ張り「ツメ」を本体の「ツメ受け」から外します。
- (5) 浮かせた本体を戻します。
※ 電動リフトアップの場合は、電源プラグをコンセントに差し込むと自動で本体が戻ります。
※ 手動リフトアップの場合は、本体を上から押さえて戻し、電源プラグをコンセントに差し込みます。

参考 1 参照

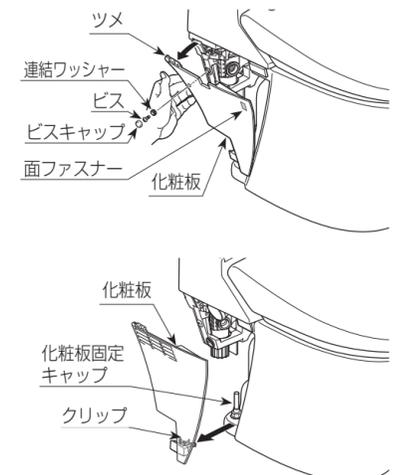
注意 2 参照



(DV-S500、DV-J200、DV-K200 型の場合)

- (1) 電源プラグをコンセントから抜きます。
注意 2 参照
- (2) (DV-K200 型の場合)化粧板のビスキャップとビスをドライバーで外します。
- (3) 化粧板の上側をゆっくり外側に引っ張り「ツメ」と「面ファスナー」を本体から外します。
- (4) 化粧板の下側をゆっくり横に引っ張り、「クリップ」を便器側の「化粧板固定キャップ」から外します。

注意 2 参照



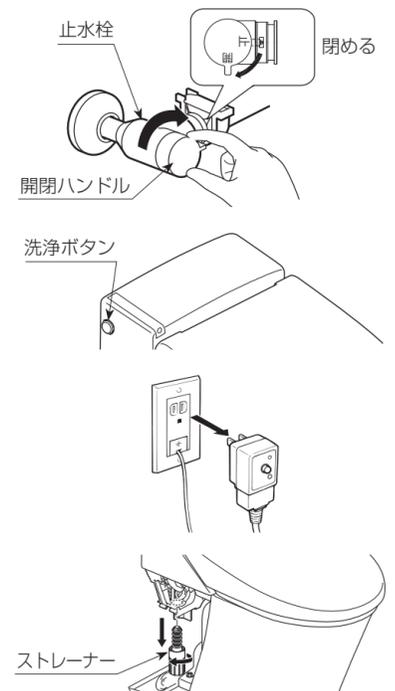
施工方法

1 機能部の取外し

- (1) 止水栓の洗浄ハンドルを閉めます。
注意 1 参照
- (2) 洗浄ボタンを押し、20 秒程度時間をあけてください。
※ 内部にたまっている水と圧力を抜きます。
※ 洗浄ボタンが右側にある場合もあります。
- (3) 電源プラグをコンセントから抜きます。
注意 2 参照
- (4) ストレーナーの下にトレイや布等を置いて、ストレーナーを外し、本体内の水を抜きます。
※ ストレーナーを外すとき、水がこぼれます。(100cc 程度)
- (5) ストレーナーを取り付けます。

注意 1 参照

注意 2 参照



商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間 平日 9:00 ~ 18:00 土・日・祝日 9:00 ~ 17:00 (ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

施工方法

(6) 本体側の給水ホースを外します。

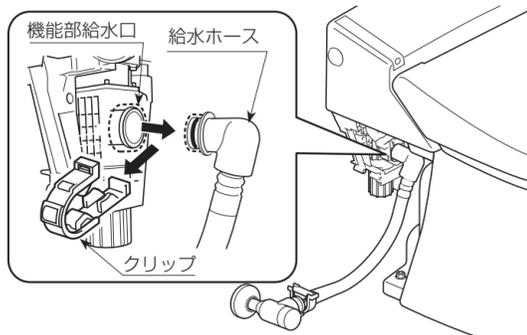
①クリップを外します。

参考2参照

②給水ホースを機能部給水口から取り外します。

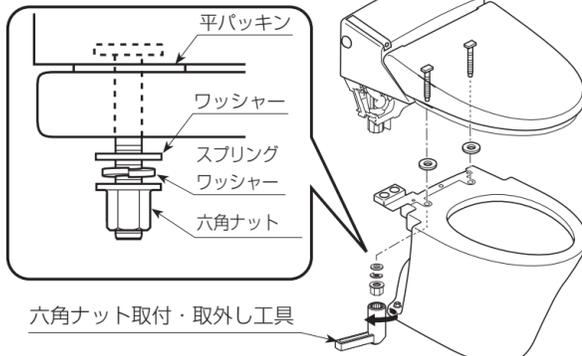
このとき、給水ホース内の水が床にこぼれないように注意してください。

注意3参照 注意4参照



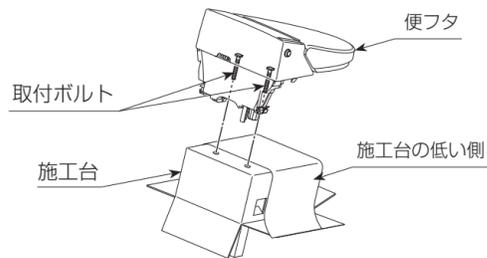
(7) 六角ナット取付・取外し工具を用い、六角ナット等を取り外します。

(六角ナット等は再度使用します。)



(8) 機能部を取外し、施工台に置きます。

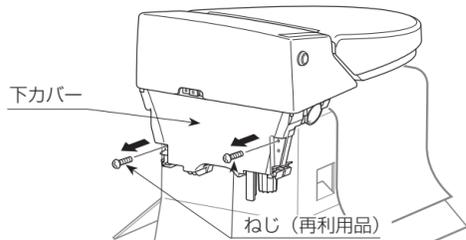
※便フタ側が、施工台の低い側に設置します。
※取付ボルトが、折れないように注意してください。
※床に置かないでください。



2 低流動圧対応ブースターの取付け

(1) 機能部背面のねじ (2本) を外し、下カバーを取り外します。

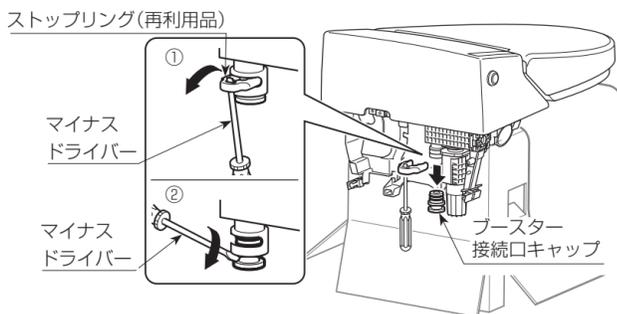
※ねじは再利用します。



(2) マイナスドライバーで、ストップリングとブースター接続口キャップを取り外します。

※ストップリングは再利用します。

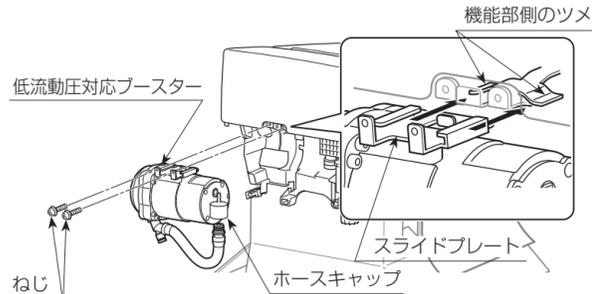
※接続口キャップを外すときに、少量の水がこぼれます。



(3) 低流動圧対応ブースター上面のプレートに、機能部側のツメ (2カ所) をはめ、スライドさせます。

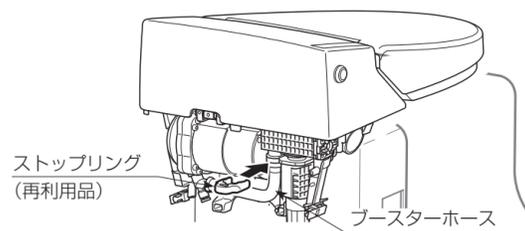
確実にツメにはまっていることを確認し、梱包されているねじ (2本) で固定させます。

(4) 低流動圧対応ブースターについている、ホースキャップを取り外します。



(5) ブースターホースをブースター接続口に接続し、ストップリングで固定します。

注意4参照



3 洗浄バルブ部の部品交換

交換する部品は、ストレーナー網 ASSY と定流量弁 ASSY です。
機能部の品番によって取り付いている部品は異なりますが、どちらでも交換可能です。

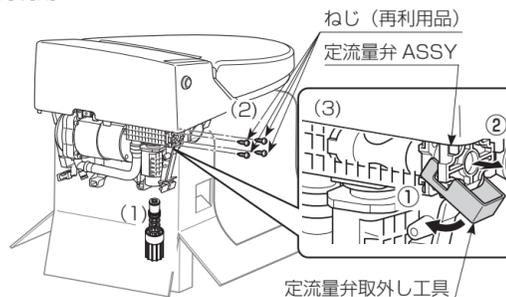
	現在取り付いている部分		同梱部品
	DV-S400A型	DV-S500型 DV-J200型 DV-K200型	
ストレーナー網 ASSY			
定流量弁 ASSY			

(1) 既存のストレーナー網 ASSY を外します。

(2) 定流量弁 ASSY のねじ (4本) を外します。

(3) 定流量弁取外し工具を用いて、既存の定流量弁 ASSY を取り外します。

※ねじは再利用します。



(4) 同梱部品のバルブベースキャップ ASSY を取り付け、ねじ (4本) で固定します。

注意5参照

※取り付けるときにバルブベースキャップ ASSY の Oリングに汚れ等が付着していないことを確認してください。

※既存の定流量弁 ASSY とバルブベースキャップ ASSY の付け間違いに注意してください。

(5) 同梱部品のストレーナー網 ASSY を取り付けます。

(6) ②(1) で取り外した下カバーを取り付け、ねじで固定します。

4 リムノズルキャップの取付け

(1) 便器の吐水口にリムノズルキャップをカチッと音まで、押し込み取り付けます。

注意6参照

(2) リムノズル先端に指を挿入して奥へ押し込み、リムノズルキャップが確実に取り付けられていることを確認してください。



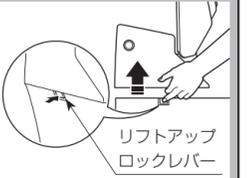
参考1

〈電動リフトアップの場合〉

- ①便フタ・便座を上げます。
- ②リモコン副操作部の本体そうじスイッチを押すと、本体が浮きます。
- ③もう一度、本体そうじスイッチを押すと、本体が戻ります。

〈手動リフトアップの場合〉

- ①リモコンの電源を「切」にした状態で、便フタ・便座を上げます。
- ②本体側面のリフトアップロックレバーを押しながら静かに持ち上げ、本体を浮かせます。
※無理に持ち上げないでください。



- ③本体を上から軽く押さえ、「カチッ」と音がするまで押し下げ、本体を戻します。
※無理に押さないでください。



注意1

止水栓を開けたままストレーナーを外さないでください。
※ストレーナー部から漏水します。

注意2

電源プラグに衝撃をかけた後、便器内に水没させないように注意してください。

参考2

●クリップを外す際には、クリップを指で押さえ、マイナスドライバーを差し込んだ後、図のように下方向に押し出すようにして外してください。

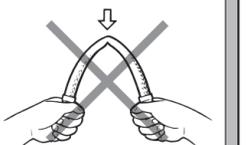


注意3

Oリングを傷つけないように注意してください。
※Oリングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。

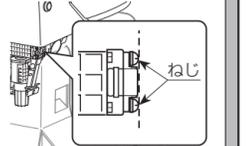
注意4

給水ホースは鋭角に曲げたり、引っ張られている状態にしないでください。
※破損して漏水する恐れがあります。洗浄不良の原因にもなります。



注意5

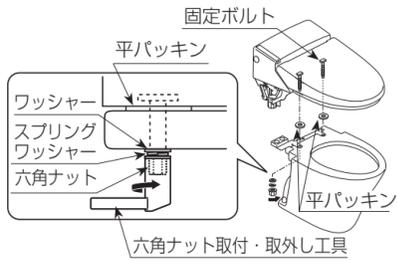
ねじ締めは片締めのないように、均等の力で締めてください。
また、定流量弁 ASSY の先端部分よりねじ頭がはみ出ないようにねじを締めてください。



施工方法

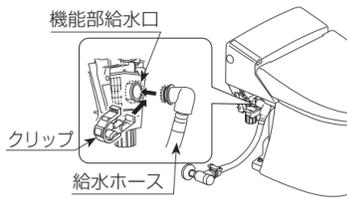
5 機能部の取付け

(1) 固定ボルトにワッシャーとスプリングワッシャーと六角ナットを取り付け手で仮締めし、六角ナット取付・取外し工具で確実に締め付けます。



(2) 本体側の給水ホースを取り付けます。

① 給水ホースを機能部給水口に取付けクリップで固定します。



② クリップを折り曲げ、給水ホースと機能部給水口を確実に固定します。



注意 7 参照

(3) 化粧板を取り付けます。

(DV-S400A 型の場合)

① 本体をリフトアップさせます。

注意 8 参照 参考 3 参照

※ 電動リフトアップの場合は、電源プラグをコンセントに差し込みリフトアップさせてください。リフトアップ後は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

② 化粧板上側のツメを、本体のツメ受けに真下から突き当たる所まで差し込みます。

③ 化粧板下側を押し、クリップを本体のクリップ受けにはめ込みます。

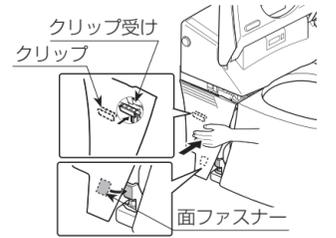
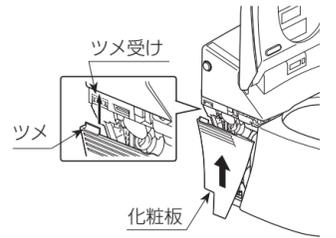
④ 面ファスナーの部分を手で軽く押さえて、化粧板を固定します。

⑤ 化粧板がしっかり組み付いていることを確認します。

⑥ 浮かせた本体を戻します。

※ 電動リフトアップの場合は、電源プラグをコンセントに差し込むと自動で本体が戻ります。

※ 手動リフトアップの場合は、本体を上から押さえて戻し、電源プラグをコンセントに差し込みます。



(DV-S500 型、DV-J200 型、DV-K200 型の場合)

① 化粧板下側の「クリップ」を便器側の「化粧板固定キャップ」にはめ込みます。

② 固定した「クリップ」を基点に、化粧板中央の「丸ピン」を、本体の「丸穴」に合わせるように差し込みます。

③ 化粧板上部付近を押し、化粧板上部の「ツメ」を本体機能部のカバー内に押し込みます。

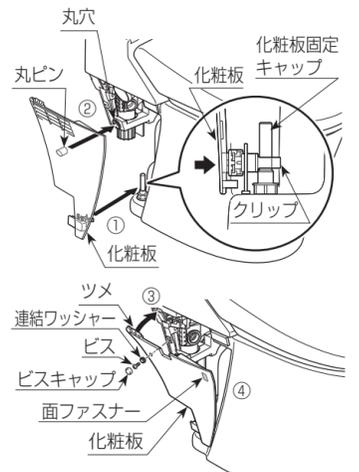
※ 押し込みづらいときは、一度リフトアップさせてから押し込んでください。

④ 化粧板上部手前を再度押し、「カチッ」と音がするまで「面ファスナー」をしっかり固定します。

⑤ 化粧板がしっかり組み付いていることを確認します。

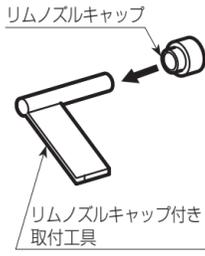
⑥ (DV-K200 型の場合) 化粧板のビスをドライバーで取り付け、ビスキャップをかぶせます。

⑦ 電源プラグをコンセントに差し込みます。



注意 6

工具からリムノズルキャップが外れている場合は、リムノズルキャップを工具にしっかり取り付けてから施工してください。



注意 7

クリップの先端がカチッと音がするまではめ込んでください。
※ きちんとはまっていないと漏水します。

注意 8

電源プラグに衝撃をかけたり、便器内に水没させないように注意してください。

参考 3

〈電動リフトアップの場合〉

① 便フタ・便座を上げます。

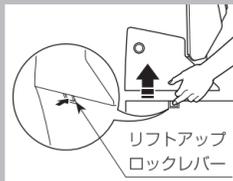
② リモコン副操作部の本体そうじスイッチを押すと、本体が浮きます。

③ もう一度、本体そうじスイッチを押すと、本体が戻ります。

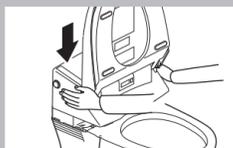
〈手動リフトアップの場合〉

① リモコンの電源を「切」にした状態で、便フタ・便座を上げます。

② 本体側面のリフトアップロックレバーを押しながら静かに持ち上げ、本体を浮かせます。
※ 無理に持ち上げないでください。



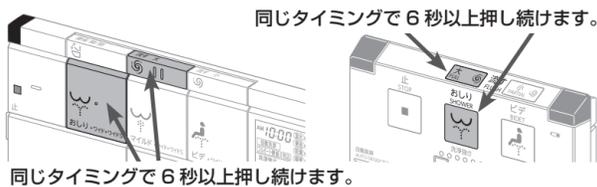
③ 本体を上から軽く押さえ、「カチッ」と音がするまで押し下げ、本体を戻します。
※ 無理に押さないでください。



6 機能部のモード変更

● 壁リモコンの場合 (DV-K200 型を除く)

リモコンの流す「大」と「おしり」スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押し続けます。(ピッと音がする製品と、電源ランプが 1 回点滅する製品があります)



● 壁リモコンの場合 (DV-K200 型)

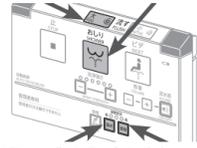
① リモコンの「温水」と「便座」スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押し続けます。※ 管理者モードに入ります。

② リモコンの流す「大」と「おしり」スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押し続けます。(電源ランプが 1 回点滅します)

③ 「止」を押します。

※ 管理者モードが終わり、通常の使用状態に戻ります。

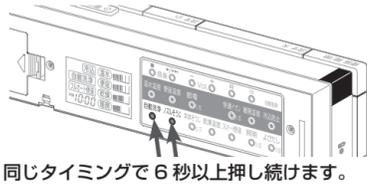
② 同じタイミングで 6 秒以上押し続けます。



① 同じタイミングで 6 秒以上押し続けます。

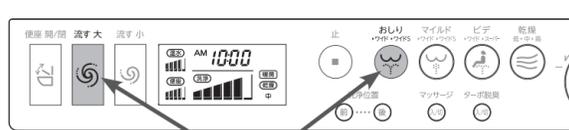
● スマートリモコンの場合

リモコンの「自動洗浄」と「ノズルそうじ」スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押し続けます。(ピッと音がします)



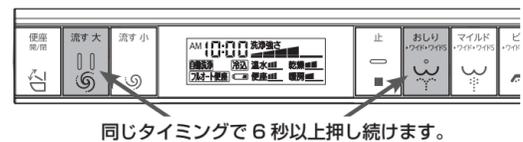
● インテリアリモコン (DV-S400A、DV-J200 型) の場合

リモコンの流す「大」と「おしり」スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押し続けます。(ピッと音がする製品と、電源ランプが 1 回点滅する製品があります)



● インテリアリモコン (DV-S500 型) の場合

リモコンの流す「大」と「おしり」スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押し続けます。(ピッと音がします)



● 大型リモコンの場合 (DV-K200 型)

① リモコンの「-」と「+」スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押し続けます。

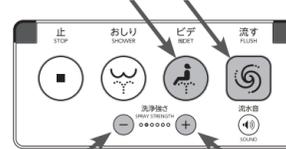
※ 管理者モードに入ります。

② リモコンの「流す」と「ビデ」スイッチを同じタイミングで 6 秒以上押し続けます。(電源ランプが 1 回点滅します)

③ 「止」を押します。

※ 管理者モードが終わり、通常の使用状態に戻ります。

② 同じタイミングで 6 秒以上押し続けます。



① 同じタイミングで 6 秒以上押し続けます。

● 大型壁 (発電式) リモコンの場合 (DV-K213L 型)

① ホルダーから外して裏面の黒いキャップを開けます。

(※ 詳細は本体の施工説明書をご覧ください。)

② 「止」スイッチを 2 回押し、管理者モードに入ります。

このとき、節電ランプと電源ランプが、2 回同時点滅したあとに  × 2 交互点滅を繰り返します。

③ 「-」→「おしり」→「+」→「-」を押します。

解除完了時、節電ランプと電源ランプが、1 回同時点滅 (注 1) (注 2) したあとに交互点滅を繰り返します。

(注 1): ②、③の操作を繰り返すと、機能が「入⇄切」と切り替わります。

(注 2): 初期設定の「入」に戻ると、2 回同時点滅します。



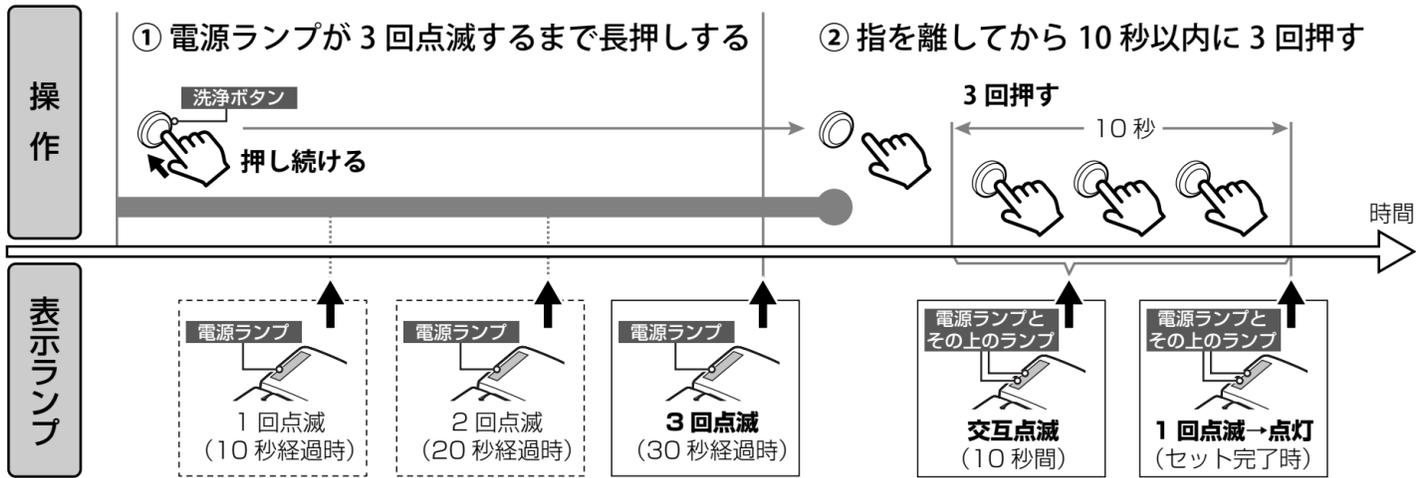
④ リモコン裏面のキャップを閉めてホルダーに収めます。

(※ 詳細は本体の施工説明書をご覧ください。)

⑤ 「止」スイッチを押して通常モードに戻ります。

施工方法

●パブリック向けタンクレストイレ暖房便座・普通便座の場合 (DV-K212・K211 型)



【注意】

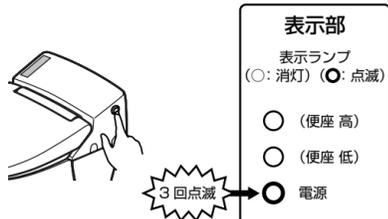
●この設定操作は電源投入後、10秒以上経ってから操作してください。電源投入後、10秒以内だと、操作は受け付けません。

①電源ランプが3回点滅するまで洗浄ボタンを指で長押しする

- ※ 押し始めて30秒経過すると、電源ランプが3回点滅します。
- ※ 途中30秒経過時に、電源ランプが1回点滅し、20秒経過時に、電源ランプが2回点滅しますが、そのまま押し続けてください。

【注意】

●40秒以上長押しすると、異なる設定モードになってしまいます。

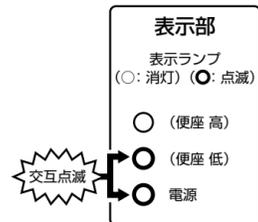


②指を離してから10秒以内に3回押し

- ※ 指を離してから10秒間は、電源ランプとその上のランプが交互点滅します。(設定変更モード)

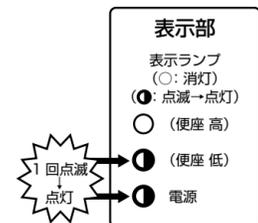
【注意】

- ②の途中で動作をやめてしまった場合は、異なる設定になります。
- 異なる設定になった場合は出荷時の設定に戻してから、設定し直してください。



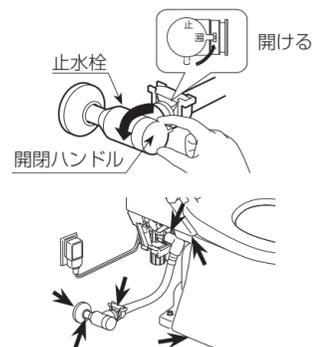
セット完了

- ※ 電源ランプとその上のランプが1回点滅し、点灯します。



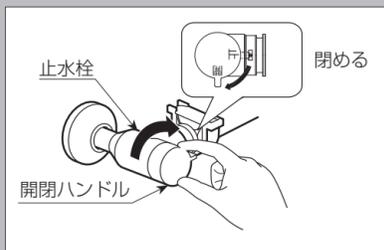
7 試運転

- 止水栓の開閉ハンドルを全開にします。
- リモコンの流すスイッチを押して便器洗浄を数回行い、ブースター内のエアを抜きます。
- 各接続部に漏水がないことを確認します。
- 便器洗浄を行い、便器鉢内がまんべんなく洗え、便鉢外への水の飛び散りが少ないことを確認します。
※ 便鉢の洗浄ができない、もしくは水の飛び散りが多いときは、リムノズル先端部に手を入れ、リムノズルキャップがリムノズルに確実に取り付けられているか押して確認してください。
- 便器鉢内に長さ約760mmのトイレトーパーを丸めたもの7個を入れ、1回の洗浄で排出できることを確認します。



お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

- 止水栓の開閉ハンドルを閉めます。
- リモコンの流すスイッチを押します。



- 水抜栓の下に浅いパレット等を置き、水抜栓をゆるめます。
- 水が抜けたら、水抜栓をしっかりと締めます。

